

第33回地本定期大会を開催!



2022年8月20日「和歌山地方本部 第33回定期大会」を和歌山市JAビルで開催した。会場では新型コロナウイルス感染防止対策として検温、アルコール消毒、換気等を充分に実施する対策を講じ、代議員傍聴者等合わせて74名での開催となった。議長には和歌山支社分会より篠原委員、田辺保線区分会より早川委員を選出し、昨年の大会以降1年間の運動を振り返るとともに、向こう1年間の運動方針を提起し、満場一致で採択した。

来賓には、JR和歌山支社より金岡支社長、連合和歌山より山本会長、JR連合国会議員懇談会より岸本衆議院議員、和歌山県議会より藤本議員、和歌山市議会より山中議員、JR西労組地方議員団会議より梶原広川町議員にお越しいただき、それぞれの立場より激励・応援の想いを込めたごあいさつをいただいた。また、日頃お世話になっている各方面の友誼団体や各地本・総支部からの激励のメッセージも会場に届けられた。

そしてJR西労組中央本部からは、本田副執行委員長、池上賃金対策・調査部長、石田原組織・政治・福対部長の3名にお越しいただいた。中央本部を代表して、本田副執行委員長より「①安全確立について②組織改正について③労働協約・冬季賞与・春闘について④コロナ禍における世話役活動について⑤持続可能な公共交通の実現と政治課題について」5点についてごあいさつをいただき、最後まで大会にご参加いただいた。

和歌山地本執行部を代表して宇田執行委員長より、コロナ禍における組合員皆様の奮闘に感謝するとともに「①安全確立について福知山線列車事故から17年が経過した。着実に安全と組合員の意識は高まっているが、今一度現場が安全を守る最後の砦であることを認識して欲しい。②9月には例年取り組んでいる賃金実態調査アンケートを実施する。各級機関には100%集約にこだわった取り組みを要請したい。③コロナ前までのスタイルに拘らず、感染防止対策を行いながら引き続き組合員に寄り添った組織運動を展開して欲しい。④日々の業務課題について検証を行い、課題が見つければ迅速に声を挙げて欲しい。⑤持続可能な公共交通のあり方について、組合員の不安解消を図りつつ沿線自治体との連携強化を行っていく。また課題解決には政治が大きく関わってくる」の5点について触れられ、今大会における課題提起を含めたごあいさつがあった。

大会では代議員6名から「各種施策に関する課題、職場環境の課題、組織改正に関する課題、冬季賞与や被服、会社設備への要望など」15項目について発言された。全て記載していないが、他にもさまざまな課題への発言が出された。長引く新型コロナウイルス感染症の影響は未だに出口が見えてこない状況であるが、それぞれの課題解決に真摯に取り組んでいくこと、組合員とその家族の生活と希望を持って働き続けることができる将来を守ることを全員で確認し、2022年度の方針が承認された。

最後は、この危機的状況を組合員の総団結で乗りきる機運を高めるよう、宇田委員長の団結ガンバローで大会を締めくくった。

地本定期大会以降、各支部分会大会や部会委員会が開催されることとなるが、各級機関大会等でも組合員からの生の声を発言として届けていただくよう要請します。

グループ外出向者への激励行動(Part9)を実施!

2022年8月22日、出向組合員への激励行動を実施しました。今回は昼食を取りながらの意見交換会といった形式で行い、和歌山県庁に出向されている山東さん、堀内さん、野上さん、JR紀の里に出向されている黒川さん、小倉さん、紀陽銀行に出向されている三谷さんの6名におこしいただきました。6名とも出向期間が1年を超えています。それぞれがたくさんの経験をされたと同いしましたが、皆さん元気に頑張っていたでおり、安心することが出来ました。戻ってからの活躍にも期待いたします!



6名の代議員から“生の声”多数届く!



上段: 中村代議員(営業)、塩崎代議員(和車)
中段: 大地代議員(工務)、嶋代議員(田運)
下段: 坂口代議員(和駅)、大鍋代議員(支社)